

ぜんたい

令和7年 10月

第78号

能登のために



震災と豪雨の被害から応急復旧工事を行っている町野川の今の様子

CONTENTS

巻頭言	2	我が水産多面的活動(サポート専門家 崎長威志)	18
全内漁連開催の各会議について		羽山伸一氏を偲んで	20
総務委員会・理事会を開催	4	みんなでやろぞ! 内水面(令和6年度実施団体報告)	22
ブロック会議を開催	4	内水面漁協(第48回)	26
外来魚対策事業の第1回検討委員会を開催	5	愛しきアユ(第51回)	27
みんなでやろぞ内水面漁業活性化事業の総合評価検討委員会等を開催	6	漁場生産力・水産多面的機能強化対策支援委託事業	28
第24回全国川づくり標語コンクール	8	日光支所から	29
第48回全国養鰻技術協議会・第56回養鰻振興全国大会	10	新会長の紹介	30
水産庁のニッチな仕事	12	業務日誌	30
漁協組合員を紹介します	13	職員のつづやき	31
我が漁協(石川県 町野川漁業協同組合)	14	新聞記事から	31
我が水産試験場(石川県水産総合センター内水面水産センター)	16	編集後記	31

全国内水面漁業協同組合連合会

漁業者(会員漁連)の傘下漁協組合員
漁業者以外の購読者

年間契約「四回発行」定価三、〇〇〇円(本体二、七八円送料サービス)
年間契約「四回発行」定価三、〇〇〇円(本体二、九〇円送料サービス)

単品 定価七五〇円(本体六八二円送料別)
単品 定価八〇〇円(本体七二八円送料別)

information

毎月3日から7日は「さかなの日」!



機関誌 ぜんたい 第78号

全国内水面漁業協同組合連合会機関誌
令和7年10月発行

発行人：全国内水面漁業協同組合連合会
代表理事長 谷 公一

編 集：本所 機関誌編集委員会

発行所：全国内水面漁業協同組合連合会
〒101-0044
東京都千代田区鍛冶町1丁目10番4号 丸石ビル4階
TEL：03-6260-9595 FAX：03-5296-2030
ホームページ：https://www.naisuimen.or.jp

印 刷：鵜川印刷株式会社
〒923-0053 石川県小松市河田町丁33番地

漁場生産力・水産多面的機能強化対策支援委託事業

●技術サポートのご案内

日々河川清掃やモニタリング作業など、より良い川づくりのためにご尽力されている活動組織の皆様には改めて敬意を表します。全内では活動組織の皆様様の活動をサポートするために、水産庁からの委託事業により、サポート専門家による個別サポート指導を行っています。「モニタリングの方法を教えてください」、「水生生物の同定方法を知りたい」、「外来魚や外来植物の駆除方法を知りたい」など、活動での様々な悩みや疑問などがありましたら、専門家による指導を受けて、円滑に活動が進むことを期待します。なお、個別サポートにかかる費用負担は一切ありません。

●新サポート専門家の紹介

今年度、新たに2名の方が内水面での技術サポート専門家に就任いただきました。

- ・宮林 豊氏（広島県）
広島県内水面漁連 業務主任
- ・中島淳志氏（群馬県）
両毛漁協 組合長

現在内水面担当のサポート専門家の登録者は11名となりました。「内水面」と一言言っても内容は多岐に亘

りますが、高い専門性を有する専門家が多方面の相談内容をカバーできますので、ぜひお気軽に相談ならびに申請をお待ちしています。

●活動組織へのヒアリングを実施しました

「小本川の環境を守る会」
令和7年9月4日に岩手県の岩泉町で活動している「小本川の環境を守る会」に、サポート専門家の川上氏（株 水士舎）とともに訪問し、活動組織の中心である小本川漁業協同組合の遠藤専務、支援自治体の岩泉町ならびに岩手県（県庁と宮古水産振興センター）の担当者と面会して、活動内容等についてヒアリングを行いました。

本活動組織は、平成28年に岩泉町を襲った集中豪雨により町内を流れる小本川が氾濫した痛ましい大水害を切っ掛けに発足しました。活動内容は主に河川清掃と増水時に水害を引き起こす恐れがある渓流部の倒木撤去を行っています（倒木撤去は今年度で終了）。本活動組織の特徴として、本来の活動のみならず活動の効果を測るための生物モニタリングを熱心に行っていました。広域な管轄河川内（上流から下流の約20kmの範囲）に複数の調査

地点を設け、6月から12月まで毎月水生生物のモニタリングを実施し、採集した生物は可能な限り種レベルまで同定して、データを記録し蓄積していました。地域の河川環境を保全し生物多様性を守る上でも、このような地道な活動によって得られたデータの存在は大変重要です。現地で直接話を伺って知ったことでしたが、多面的な活動としても高く評価されるべき取組と感じました。

内水面技術サポート専門家（令和7年9月現在）

No.	氏 名	現住所 (都道府県)	所 属
1	高橋 清孝	宮城県	NPO法人シナイモツゴ郷の会 理事長
2	丹羽 晋太郎	茨城県	茨城県水産試験場内水面支場 増養殖部長
3	中島 淳志	群馬県	両毛漁業協同組合 組合長
4	浅枝 隆	埼玉県	埼玉大学名誉教授
5	林 紀男	千葉県	千葉県立中央博物館 上席研究員
6	川上 貴史	神奈川県	株式会社 水士舎 研究員
7	桐生 透	長野県	元 山梨県水産技術センター特別研究員
8	崎長 威志	広島県	元 広島県内水面漁業協同組合連合会 参与
9	宮林 豊	広島県	広島県内水面漁業協同組合連合会 業務主任
10	稲田 善和	福岡県	九州・水生生物研究所 所長
11	望岡 典隆	福岡県	九州大学特任教授

る場合があることなど釣り人へ周知を行っています。

湯ノ湖での体験会

7月26日に、JFFA（日本フライフィッシング協会）関東支部が開催したフライフィッシング体験会に協力しました。体験会ではフライフィッシング未経験者を募集、参加者は、フライタイイング（毛鉤作り）教室とキャストイング教室で学んだ後に、湯ノ湖にてマンツーマンで釣りを体験しました。

湯ノ湖釣り大会

8月2日、湯ノ湖夏の釣り大会「サマートラウトフィッシングフェスタ」を行いました。

朝方は小雨が降りましたが一時的で、その後は風もあまり吹かずに釣りには良い天候でした。台風が接近していて、天気予報が良くなかったこともあり、例年より釣魚者が減少しました。ニジマスの部は60・6cmの大型ニジマスを砂浜からの岸釣りでも釣り上げた方が優勝しました。8月は夏休み期間中の9日（土）～17日（日）には連日放流を行い、多くの家族連れで賑わいま

釣りたいその瞬間を逃さない。
その一瞬は、スマホひとつで。
遊漁券購入に、フィッシュパスという選択肢を。



FISH PASS

サービス提携数No.1

〒910-0347 福井県坂井市丸岡町熊堂 3-7-1-16 福井県産業情報センター ご相談はこちら： ☎ 0776-67-7335 ✉ contact@fishpass.co.jp

🔍 フィッシュパス



した。

9月20日には「ファイナルトラウトフィッシングフェスタ」を行い、湯ノ湖・湯川では、9月30日をもって釣りの期間が無事に終了しました。



リバークリーン

禁漁後の10月5日（日）に、釣り人と協働で「湯川・リバークリーン」を行います。水辺に木々の多い湯川では、枝先に釣り糸がからむことが多く、川の中に入った木に登ったりして釣りゴミの除去作業を行う必要があります。湯川に感謝し水辺環境を守るため、毎年釣りシーズンが終わった時期に川の清掃を行っています。



日光支所から

特定外来生物のオオカワヂシャは、多年草で淡紫色～白色の花を咲かせます。繁殖期は4～9月で、沈水型と陸上・抽水型があり、近年、湯川において生息を拡大しています。

令和7年3月に開催された湯ノ湖・湯川調査研究推進協議会において、湯川における特定外来生物オオカワヂシャの分布実態等の報告がありました。また、駆除作業を行う場合について、日光支所へ協力要請が環境省日光国立公園管理事務所からあり、駆除作業について釣り人への周知協力を行いました。



今年は、5月中旬から11月末まで、湯川全域において駆除作業を行います。全内では、駆除作業への理解と協力をホームページで発信し、濁りが発生す